

二溪の風

県立神奈川工業高校100周年

戦前は本名の「熊田五郎」でグラフィックデザイナーとして、戦後は花や昆虫を細密に描く挿絵画家・絵本作家として活躍した熊田千佳慕(図案15、故人)。地面すれすれの「虫の視線」で描いたことで有名だが、この技法は神工時代に生まれた。軍事教練の際腹ばいになったら目の前にアリやコオロギがいたのだ。

2007年に神奈川新聞で連載した「わが人生」でこう述懐する。「虫のことを知ろうと思ったら、虫の目の高さで見なければいけない。それに気づかされた瞬間です」

半世紀後の1981年、「フ

アート(2)

②

「アーブル昆虫記」(コーキ出版)がポロニーヤ国際絵本原画展で入選。以後広い支持を得る。

3月の東日本大震災で木版画家の林保次郎(図案26)は、満1歳で母を亡くした関東大震災を想起させられた。「生を大切に



望月 三起也
さん



林 保次郎
さん



熊田 千佳慕
さん

にする、明るい世になってほしいです」

東京美術学校(現・東京芸大)彫刻科に進むが、1943年学徒出陣。仙台陸軍飛行学校へ入隊し、10カ月の特訓で南太平洋戦線へ。「運よく生き延びて」、敗戦翌年に帰国。「神工で培ったレタリングや装飾の技を生かし」、百貨店宣伝部のアルバイトで自活した。

ディスプレイ会社に勤務時代、「木版画の世界に『自分』を見つけ出せる気がして没頭するようになった」。横浜ランドマークタワー建設をテーマにした「みなとみらいとかこと」と題する大作は、同タワー1階に展示されている。

白バイを操る元犯罪者が巨悪を倒す「ワイルド7」(69年連載開始)が爆発的な人気作とな

る。

った漫画家の望月三起也(定時制建築44)。その「心の師匠」は「建築担当の篠崎義章先生」だ。

「日光東照宮を見学した際、先生は早朝凍った華厳の滝に僕たちを連れていった。朝日が昇り、氷がポタポタ解け、大瀑布になる一部始終を見せ、『建築の基本は自然。基本や原点を大事にしなさい』とおっしゃった」

卒業後、漫画家・吉田竜夫のアシスタントを経てデビュー。「壁にぶつかるとあの言葉を思い出し、原点に戻ったり後退したりする。すると晴れ間が見え、壁が低く見えます」

12月には実写映画「ワイルド7」が公開予定。中途半端になるのが嫌で今まで実写化を拒んできたが、「やっと納得いく映画が実現した」。同作は熱烈なファンが多く、期待を集めている。

|| 敬称略、()内は専攻科と通算卒業期

「原点」胸に才能開花